

+++++
「植物と人々の博物館メールマガジン」 第26号 2017年3月3日発行
+++++

山里も春めきました。畑を耕し、いよいよ種播きの準備です。うれしくてワクワクします。小金井のプランタではレタスやチコリが良く育ち、毎日サラダにできます。カリフラワーやキャベツも播きました。

会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。

なお、自然文化誌研究会の全体の活動は「ナマステ」でお知らせしています。ご関心のあるご友人に転送などでご紹介いただき、「辺境」の地道な市民活動に薄情なマスコミやギョウセイではなく、顔見知り信頼のクチコミで転送伝達していただけると嬉しいです。

○報告

1. シンポジウム「農山村の環境と生活文化から学ぶ都市との交流」（現代文明の移行と伝統知・生業～第39回環境学習セミナー）

4月15日（土）～16日（日）。詳細はHPに掲載し、参加申し込みを受け付けています。ぜひポスター発表もお願いします。

<http://www.millettimplic.net/collegefores/applic.html>

2月14日に新聞社に取材依頼を出しました。2月26日に、藤野倶楽部で藤野世話人会を行いました。懇親会では、藤野産 BIO 市の有機野菜で料理を作る予定です。

2. FAO 世界農業遺産の関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』を作り、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。

<http://www.millettimplic.net/milletsworld/millstr.html>

2月26日に、藤野倶楽部で普及について話し合いました。居合わせた市民農園の方々が大いに賛同してくださいました。

訃報 西村俊一先生が、1月29日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈りします。国際教育の専門家でありながら、東京学芸大学連合大学院教育構造論講座（博士課程）で環境教育学研究も担当され、江渡狄嶺や安藤昌益など日本のエコロジズムについてのご著書があります。

○予定

1. 作業予定日：3月10日（金）、17日（金）、24日（金）、3月31日（金）、4月14日（金）の予定です。

小菅村中央公民館は、7月から縮小改築の耐震工事を行います。「植物と人々の博物館」は急遽引っ越し先を探さなければならなくなりました。

同時に、5月中に、自然文化誌研究会所蔵の民具、雑穀など植物標本、文献図書、書架などを梱包し、梅雨入り前に、どこかに移動せねばなりません。作業にご協力いただきたくお願いします。ご一緒にいただければありがたいです。

よろしくお願いします。ご協力いただける方は木俣にメールしてください。大まかな作業日程は下記です。kibi20kijin@yahoo.co.jp

3月：公民館図書（約2000冊）の梱包、書架（15台ほど）の整理。収蔵庫の民具（INCH分）梱包。

4月：移転先清掃、展示の配置検討。

5月：4日一般公開展示解説、8日展示室の民具（INCH分）梱包。展示台・ケース・ボード（INCH分）の整理。

13日雑穀栽培講習会、14日学大実習。*民具（小菅村分）については、移転先の状況によって対応を検討する。

6月：梅雨入り前に、すべての物品の移動。

7月以降：公民館工事。移動先での再展示などを、徐々に行う。

2. 日本村塾ゼミ（読書会）

希望者があれば開催します。ご意見、ご要望をお知らせください。

1) 自給農耕ゼミ第9回 日時：未定、自然と感じ合う農耕の楽しさを語り合いたいと思います。民族植物学ゼミ第4回で出た話題を深めます。

テキスト；レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。

参考図書；同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

2) 民族植物学ゼミ第5回 日時；未確定（土）午後2～4時 農耕文化について学び直したいと思います。

場所：JR飯田橋駅近くのタイムズカフェ

<https://tabelog.com/tokyo/A1309/A130905/13178703/>

JR飯田橋駅の西口の改札、お堀の川を正面に右側にある神楽坂を登ったら、5分くらい。東京メトロ飯田橋駅B3出口を出て右方向、徒歩3分くらい。

テキスト；中尾佐助 1966、『栽培植物と農耕の起源』、岩波新書（重版あり）、再読したいロングセラーです。

参考図書；同左（1967）、農業起原論、森下正明・吉良竜夫編『自然—生態学的研究』、中央公論社、所収。

3) 扶桑・ゼミ第3回 日時：未定、 明治維新を考え直したいと思います。

テキスト；羽仁五郎（1956）『明治維新—現代日本の起源』、岩波書店（絶版中古有）。

参考図書；原田伊織（2015）『明治維新という過ち』、毎日ワズ；西鋭夫（2016）『新説・明治維新』、ダイレクト出版；

西野辰吉（1972）『秩父困民党』、講談社；森田康夫（1993）『大塩平八郎の時代—洗心洞門人の軌跡』、校倉書房。

3. 藤野で雑穀栽培ワークショップが企画されています。

詳細は次回にお知らせしますが、5月下旬から秋まで6回、播種から加工・調整、調理まで実技と講義を行います。

4. FAO 世界農業遺産

雑穀街道普及会で発起人、賛同者やアドバイザーを募っています。

5. 植物と人々の博物館公開解説

日時：5月4日（木・祝）、場所：小菅村中央公民館。引っ越し準備のため、一部展示のみ公開とします。

6. 雑穀栽培講習会

日時：5月13日（土・祝）、場所：小菅村中組の畑など。西原の中川さんと丹波山の岡部夫妻に、実技を教えてください。学大の環境教育専修生の実習も受け入れ予定です。

7. 民族植物学第11号の原稿締め切りは2017年7月末です。ご寄稿をお待ちしています。環境学習セミナーの報告、野生植物の利用、九州・沖縄の雑穀栽培、信仰論などを準備しています。・・・

8. 『雑穀のインド亜大陸』は2017年3月を完成目標に、個人の実経験をまじえながら、自由に書いています。今は民族について学びながら、ネパール・ブータン、およびインド各州ごとの各章を書いています。未定稿ですが順次章ごとに公開していきます。同じく、『環境学習原論』も書き始めました。ともに、下記の個人ホームページから引用してくださる場合は、「木俣美樹男（2017未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川
泰彦（埼玉）

ミュージゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井
雄次

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

連絡先・メルマガジン発行係：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

公式 HP：植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.millettimplic.net/>

木俣美樹男 Mikio KIMATA kibi20kijin@yahoo.co.jp

植物と人々の博物館／日本村塾 研究員塾生

Nihonmura College for Environmental Studies, Plants and People Museum

公式 HP： <http://www.ppmusee.org>

個人 HP： <http://www.millettimplic.net>